



有機溶剤中の高温高圧腐食試験

高温・高圧環境かつ有機溶剤中での金属材料の腐食試験を実施いたします。

有機溶剤中の腐食試験について

化学プラントの設計および原料組成の変更に際して、プラント材料の耐食性を評価するのが一般的です。

原料が有機溶剤(アセトン、エタノール、石油系溶剤など)かつ高温高圧環境の場合、特殊な圧力試験装置(オートクレーブ)が試験機として必要となります。

当社では、お客様のご要望に合わせて、高温高圧環境下での有機溶剤中の腐食試験をご提案いたします。

有機溶剤の具体例

● 主な有機溶剤

第1種	第2種	第3種
トリクロルエチレン	アセトン	ガソリン
クロロホルム	エタノール	石油エーテル
	酢酸エチル	石油ベンジン
	メタノール	
	トルエン	

試験環境

● 試験条件

試験温度：室温～600℃

試験圧力：最大29MPa

試験期間：短時間から長期間までご要望にお応えいたします。

*注) 試験溶液により、最大試験圧力、温度は変動します。ご相談ください。

評価方法

● 腐食試験前後の評価法

試験片の外観観察

試験片の重量変化と腐食速度

孔食の有無

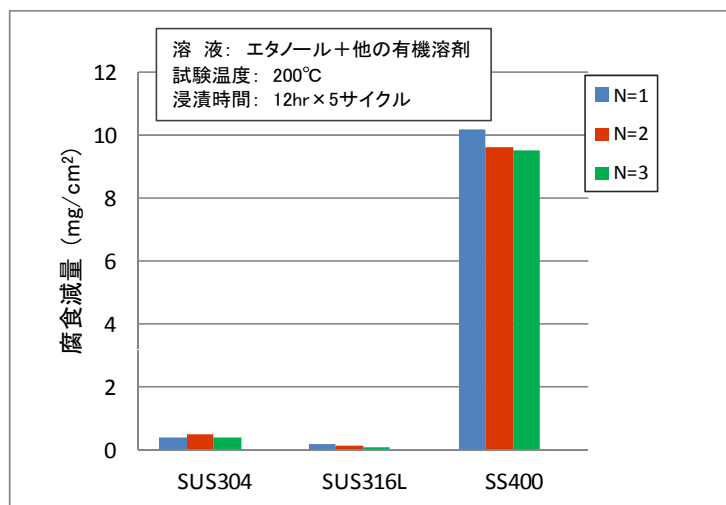


図1 腐食量の比較(イメージ図)

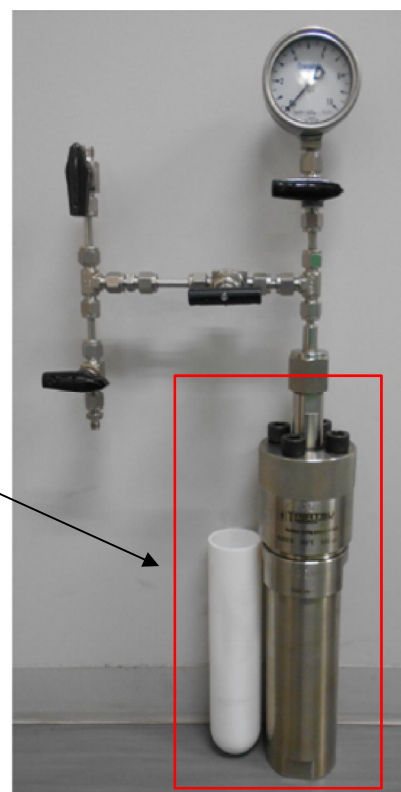


図2 圧力試験装置の例



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2017 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。